

## 原料費調整制度について

当社では、ガス料金の透明化を図るために、L P ガスの輸入価格に応じてL P ガスの販売価格を調整する、原料費調整制度を導入しております。当社では毎月調整を行っており、従量料金に対して調整が行われます。L P ガスの輸入価格は、サウジアラビア、北米等の輸出価格（C P ・M B）、為替レート、タンカー運賃等の変動により変わってきます。当社では、L P ガス料金の安定の観点から中東品のL P ガスと北米品のL P ガスの両方を採用しています。調整額につきましては、当社ホームページまたは、検針票にてご確認いただけます。

原料費調整額の算出方法の一例

2020年3月の調整額の算出方法 **-14.0/m<sup>3</sup>**

基準原料価格 **63,900円/t**

中東品コスト

C P（\$/t） 2月=505.0      3月=430.0

合成C P（\$/t）2月C Pと3月C Pの平均 =  $(505+430) \div 2 = 467.5$

合成C P × 為替（前月1日～末日の平均為替） + 中東タンカー運賃（円/t） × 0.75（割合）

$467.5 \times 110.98 + 6500 \times 0.75 \doteq 43787$

北米品コスト

M B（\$/t） 2月=204.41

米国物流経費（\$/t） 87.0

（M B + 米国物流経費） × 為替（前月1日～末日の平均為替） + 北米タンカー運賃（円/t） × 0.25（割合）

$(204.41+87) \times 110.98 + 9750 \times 0.25 \doteq 10523$

※石油石炭税 **1,860（円/t）**

中東品コスト + 北米品コスト + 石油石炭税 + 物流経費

**43787 + 10523 + 1,860 + 1,000 = 57170**

**57170 - 63900 = -6730**

**-6730 ÷ 1,000 = -6.73円/kg**

**-6.73 ÷ 0.482 = -14.0円/m<sup>3</sup>**（小数第二位四捨五入）

※0.482はL P ガスのkgとm<sup>3</sup>間の産気率